尾 ちござくら

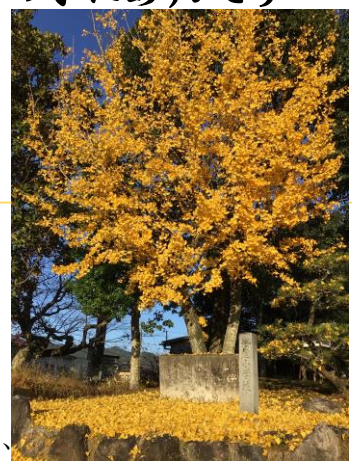
自学・自働・自鍛

自ら学ぶ・自ら働きかける・自ら鍛える

桜尾小学校 学校だより　R5.12.15

学校は生きた教材の宝庫です　～イチョウの木にありがとう～

師走に入り、校庭の景色も様変わりをしました。黄色く色付いていたイチョウもすっかり葉を落とし、冬を感じる季節となりました。そんなイチョウの木の存在について、１２月１１日の全校朝会で一冊の絵本をもとに以下のような話をしました。



【桜尾小のイチョウの木】

イチョウは、最古の種類の木として進化論を確立したダーウィンは、「生きた化石」と敬意を表しています。地球に生命が誕生してから生き物はゆっくりと変化し、２億３０００万年前には恐竜が現れましたが、その後の大異変で世界中から生き物が消えてしまいました。そんな中、イチョウは中国で生き抜いていて、増えていました。中でも銀杏を食べたり、葉を煎じて飲んだりすると、長生きができる、記憶力がよくなる、老化を防ぐと期待をして利用されたそうです。

さらに、１９４５年８月６日に広島に原爆が落とされ、多くの命が亡くなったとき、黒焦げになったイチョウの木が見つかりました。次の年の春、この木から芽が出てきたそうです。

今から１００年前の関東大震災のときはイチョウが火事を防ぎました。それは、イチョウの分厚い葉にも幹にも多くの水分が含まれているからです。だからこそ、イチョウは燃えにくく、火に強い木として、学校やお寺、神社にあり、火災から建物を守ってくれているのです。

そして、イチョウには雄の木と雌の木があり、雄の木は春に猫のしっぽのような花を咲かせ、雌の木は秋に杏のような黄色い玉をつけます。ということは、学校のイチョウは雌の木です。

子どもたちは、イチョウの色の変化を見たり、葉を触ったり、銀杏の臭いをかいだりと、５感を使って、その存在を感じていました。しかし、この独特の臭いに、強い生命力の秘密を見つけました。こうして学校の自然環境から学びを深めることができる桜尾小です。学校は、生きた教材の宝庫です。今日もイチョウの木は、堂々たる姿で私たちの学校を守ってくれています。桜尾小にイチョウの木がある意味を知り、感謝の気持ちでいっぱいになりました。(校長　奥田　宣子)

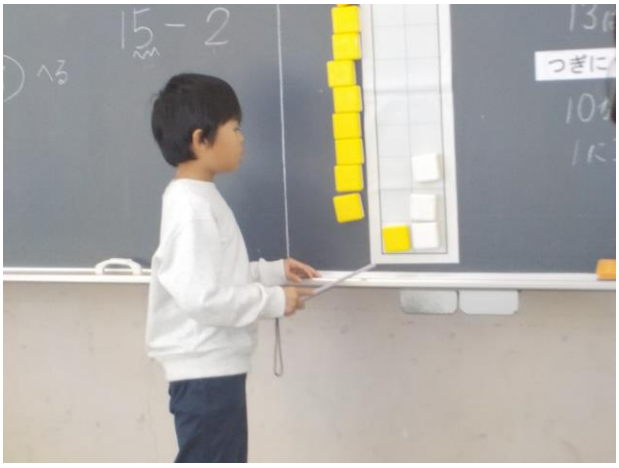
１月の行事予定

９	火	始業式　下校指導　給食無し	２４	水	フッ化物洗口
１０	水	書き初め大会　フッ化物洗口	２５	木	お話タイム　なかよし班デー わいわいタイム　スタディハピット
１１	木	発育測定　お話タイム 委員会　　スタディハピット	２６	金	高富中入学説明会（午後：６年）
１２	金	発育測定	２９	月	
１５	月		３０	火	第３回学校運営協議会　さくらお探検隊
１６	火	さくらお探検隊	３１	水	フッ化物洗口
１７	水	フッ化物洗口	２月１０日（土）さくらっ子発表会（午前） １６日（金）振替休業日 １９日（月）午前授業（給食あり） ※振替休業日をお間違えのないように注意してください。 12月15日現在の予定です。		
１８	木	お話タイム　クラブ スタディハピット			
１９	金				
２２	月				
２３	火				

◇歯を磨くスキルを学ぶ

２学期は、学年ごとに歯みがきの技術を身に付けています。４年生は、小臼歯のみがき方を学びました。また、梅原小、大桑小の子とデンタルフロスの使い方なども学びました。歯の学校として、どの子も歯みがきの意識を高めています。

◇研究授業　１年生・算数、３年生・国語



１年生は、繰り下がりのあるひき算の学習を、校内と市内の算数・数学が専門の先生に参観していただきました。３年生は説明文の書き方の工夫の授業を、今年度採用された先生方が参観しました。１年生も３年生も一生懸命考える姿がすてきでした。

◇ようこそ！山本禮子さん

絵本「おかえり、フク」をもとに全校道徳の授業の第２弾として、絵本の主人公である山本禮子さんを学校にお招きしました。フクと過ごした日々を直接詳しく伺うことができた、貴重な機会になりました。

◇ミニ教育実習

フォローアップ教室に卒業生の中学３年生が学習支援に来たことは新聞に掲載されましたが、11/29 の午前中には桜尾小を卒業した高校生が授業に参加して、子ども達の活動を支援してくれました。

<u>カウンセリング</u>　1 月 11 日（木）、25 日（木）　ご希望の方は、養護教諭・加藤まで

※年末年始をはさむ長い休暇となります。
　休暇の後、お子さんの様子等で気に掛かることや心配なことがありましたら、気軽にご相談ください。

資源回収について

１２/２６～１/９は、プール南の駐車場の資源回収ボックスは閉鎖します。赤尾ステーションは開放しております。
よろしくお願いいたします。